

シリーズ⑥ 学力向上への道

わが校の学力向上の 取り組みについて



今年度の中山中学校は、「良い種をまこう！」という合言葉で始まりました。

一人一人が安心して諸活動に取り組み、満足感を味わうことができるように、お互いに良い種（頑張る姿や思いやりの気持ち）を学校や地域でまいていこう、という意味です。

学校生徒の活動の旗振り役として、さまざまな場面で活躍してくれると思います。

(2) 授業が一番大切！

「良い種は授業から」ということで、生徒会の代議員を中心に5月に「授業改善キャンペーン」を行いました。「チャイム着席」「あいさつ」「授業態度」を点数化し、代議員が集計して発表し合いました。

(3) みんなで勉強する！

中山中学校では、授業の準備をしてから、着席して始業チャイムを待ちます。授業は、その時間の学習目標の確認をして学習がスタートします。また、授業の中に「学び合い活動」を設定して、互いに関わりを持ちながら取り組み学習を進めています。

【一年生の感想】

○放課後の勉強は、少し面倒に感じるけれど、わからないところも理解できるようになると思っているので、よいと思います。
○家で勉強する時よりも集中できるので、とてもうれいんです。

(5) PTAとの連携



PTA厚生部の協力で、「ノーマディア週間」の取り組みも行っています。その集計結果は学級・学年・学校だより等で家庭にも情報提供していきます。

(1) 「とりぼう」誕生！
生徒会執行部の発案で、中山中学校の良い種の象徴としてマスコットキャラクターを作りました。



図案と名称を全校生徒から募集しました。その名も「とりぼう」。これからの中山中

【生徒会執行部の感想】

どのクラスでも、課題を見つけて、それを改善するために、代議員を中心に行動してきて良かったと思います。まだまだ意識の低い人がいるので、周囲の人からも自然に声かけや注意ができるクラスにしていきたいです。



(4) 自分で勉強する！

昨年、大山町で作成した「家庭学習の手引き」に加えて、中山中学校版の「中学生の勉強方法」を作成しました。各教科のくわしい勉強方法を紹介しています。そして、授業で学習したことを確実に自分の力とするために、自学ノートの活用を進めています。内

徐々に家庭学習への取り組みに成果が見え始め、町の示す学習時間を満たしている生徒が増えてきています。今後も「良い種」がたくさんまかれる中山中学校になるよう、学校と家庭が協力していきたいと考えています。